

韓国情報化社会視察ツアー

2023年6月28日～6月30日

情報セキュリティ大学院大学 名誉教授
元横浜市情報統括補佐官

内田 勝也

報告書要旨

1. はじめに

2023年6月28日から30日まで、「韓国情報化社会視察ツアー」参加の記録です。

韓国 ソウル内の視察を3日間で視察しており、参加は、今回を含め3回参加しました。

- 1回目：2013年8月29日から31日で、以下に概要があります。

韓国 ICT 事情視察 報告書: https://www.infosecpsychology.com/eGov/20130829_31Korea.pdf

- 2回目：2018年7月12日から14日まで。報告は未作成
- 3回目：2023年6月28日から30日 今回の視察ツアーで、40名弱の参加があった

韓国基礎情報

- 首都圏人口／国内人口：2,604万人／5,100万人（日本の約40%）

国民の約半分が首都圏（ソウル・仁川・京畿道）に集

- 面積：約10万km²（日本の約26%）

（北海道、秋田県、青森県の広さと同程度）

- 一人当たりGDP(2021年) \$44,620 (27位／190か国)

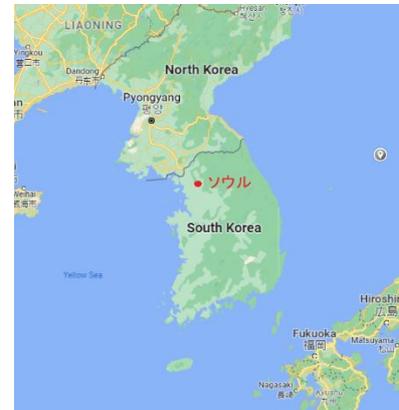
日本は30位

- 参考：

横浜市 人口：370万人 面積：437Km²

東京都 人口：1,323万人 面積：2,188Km²

- ソウル市は、25の行政区画があり、各行政区の区長は公選制を取っている



2. 全体の印象

- (1) **組織横断的システムと個別自治体優先システム**：韓国のシステム構築・運用では全国的な対応だが、日本は個々の自治体に対応している感じを受ける。勿論、町村会レベルでの処理（パッケージ利用）があるが、基本は『**外部委託**』であり、全国的なレベルでない。
- (2) **業務改革のシステム化と手作業のシステム化の相違**：韓国のシステム化第1回目に、金融機関の見学があったが、住民票のようなものを直接、銀行の端末で取得できた。勿論、銀行の端末にはデータが残らないシステムになっていた。
一方、日本では、自治体やコンビニ等で、住民票を印刷し、提供し、印刷した住民票等（紙）を先方に渡している。あくまでも、手作業処理の延長であり、本来的なシステム化ではない。また、セキュリティ確保でも、韓国方式の方が安全だと考える。
- (3) **内製化と外部委託**：全体的にみると、日本でのシステム化／セキュリティ対応に大いに参考になるものと、うまくこなしているものがあると感じた。ことによると、初回のツアーでの知識等と、個人的な経験が影響しているかも知れない。ただ、そのような話を一部の参加者ともしたが、同じような意見があった。
- (4) **専門家と非専門家**：システムやプログラミング能力を求める傾向が強い日本では、『**自治体等での業務知識**』を持った人材が必要になるが、システム分析、構築やリーダーとしての資質等の専門能力と自治体等の業務知識を持った人材が必要になるが、そのような人材

韓国情報化社会視察ツアー

2023年6月28日～6月30日

情報セキュリティ大学院大学 名誉教授
元横浜市情報統括補佐官

内田 勝也

はあまりいない。そのような人材の育成が必要になるが、一人が全てに対応できる【スーパーマン/スーパーウーマン】の育成でなくとも、複数人でプロジェクトを運営構築し、全体で大きな力、能力を持てばよい。システム化の推進では、途中で、担当者の交代をするような短期的なものは少ない。

かつて、海外パッケージベンダーが日本国内進出時のシステム要員の採用では、大手コンピュータベンダーの若手（30歳前後）社員であった。数百人から千人規模のプロジェクトでは、システム全体を見ることは不可能だと友人の一人は語っていた。

コンピュータ業務に携わっていれば、全ての内容を熟知していると考え、採用したが、パッケージソフトの持つものを理解できず、失敗に終わったと聞いて医いる。

(5) **システム開発・運用経費**：韓国と比較しても非常に高額な経費を日本の自治体では支払っており、一部は10倍の経費と思われるシステムもある。

- 人月商売：最近判明した『コンビニ交付システム』のトラブルで感じるのは、人月商売を委託側（政府・自治体等）もベンダーも、【人月】での業務推進をやっている感じを受ける

韓国情報化社会視察ツアー

2023年6月28日～6月30日

情報セキュリティ大学院大学 名誉教授
元横浜市情報統括補佐官

内田 勝也

訪問先

(1) 地域情報開発院 (KLID : Korea Local Information Research & Development)

<http://www.klid.or.kr/>

KLID は、日本の(財)地方自治情報センター : LASDEC (現 地方公共団体情報システム機構 : J-LIS)を参考にして作られた組織で、自治体システムの構築を行い、無償で各自治体に提供している。

日本では、各自治体が独自にシステムを構築しているが、地方自治体の自治権があるため、全国共通システムを構築できないと言われる。

個人的には、『工夫次第』ではないかと考えている。かつて『2011 (平成 23) 年』に町村会へのシステム化でパッケージシステムの導入検討に参画した時、統一システムを原則とするが、独自システムを望む自治体には、データ提供を行い、独自システム構築を許す方式を提案したが、希望する町村はなかった。一般的に言えば、例外的な事案が発生することがあるが、それを『できない』なのか、『やらない』なのかが明確でないため、反発が起こることがあるが、民間企業でも例外処理は発生しており、それを解決する工夫がされていることが多い。

前 2 回も訪問しており、今回は 3 回目の訪問になったが、10 年前は SOC の見学があり、印象が強かったが、今回は説明中心だった

➤ 地域情報化に関する調査・研究

➤ 地方行政統合情報システム

地方公務員が国家政府から委任された公共サービスや行政事務をオンラインで処理できるように支援する。このシステムは過去 20 年間、電子政府の中核システムとして機能している

➤ 地方自治体の人事管理システム

地方公務員の採用、組織、管理、退職等の標準的な人事管理支援システム

➤ オンライン業務処理システム (オンナラ BPS)

すべての事務手続きをオンラインで管理し、進捗状況や結果をリアルタイムに共有し、各手続きを正確かつタイムリーに記録する

注) 日本 : 地方公共団体情報システム機構 [J-LIS] : 国と地方公共団体の共同管理法人

(2) 恩平 (ウンピョン) 区役所

ソウル特別市の北西部にあり、人口 : 約 54 万人, <https://www.gangnam.go.kr/>

➤ デジタルリテラシー教育として、教育機会の提供をおこなっている

➤ 区民情報化教育

区民の情報リテラシーの向上を図るため、教育を行っている

- 対面・非対面教育の実施



韓国情報化社会視察ツアー

2023年6月28日～6月30日

情報セキュリティ大学院大学 名誉教授
元横浜市情報統括補佐官

内田 勝也

- 障害者教育施設運営

(3) 行政情報共同利用センター

- ▶ 行政機関、公共機関、金融機関、教育機関等の情報を電子化して共有し、各自治体での情報化でなく、**全国標準プログラムを構築**し、運用を行っている
- ▶ 情報が統一管理されており、オンラインで申請すれば、自治体やコンビニに行く必要はない。

(4) 政府情報資源管理院 NIRS

- ▶ 2017年7月に発足した組織で、中央行政機関や自治体、公共機関の情報システムや国家情報通信網等の安定的な運営、効率的統合・構築管理、保護・保安等の事項を統括する機関、韓国行政安全部の所属機関



- ▶ **クラウドの推進**：2019年 47%，2020年 52% 2021年 60% と利用率が向上！
- ▶ **ソフトウェア定義データセンター (SDDC)**：コンピュータ，ストレージ，ネットワークを仮想化したデータセンターで，人的介入を最小限に抑え，全てのリソースを管理する
- ▶ **AIベースのセキュリティ管理**：AIベースのセキュリティ管理対応

(5) 韓国教育放送公社：Educational Broadcasting System (EBS 国政ネット塾)

2000年6月に設立された組織で，あらゆる教育格差を是正することを目的とした教育専門放送機関。2004年以降，講義内容はインターネット上にあり，いつでもどこからでも学習できる環境 (e-Learning) を構築し，無料で提供している

なお，日本やフランス等と共同制作を行っている (下記 URL を参照)

参考：<https://ja.wikipedia.org/wiki/韓国教育放送公社>

(6) カカオバンク

韓国最大のネット銀行で，2017年7月に，2番目のインターネット銀行として営業開始し，2日目で47万口座，5日目で100万口座，3週間で200万口座の登録があった。また，全ての銀行のATMで出金，入金，送金が可能で手数料は無料としている。

なお，韓国内最大の SNS であるカカオトークを持つ企業のネット銀行で，開始前から注目されていた。

注) カカオトーク：スマホ，タブレット利用の無料通話，メッセージングアプリで，写真、動画、音声メール、URLを共有でき，個人チャット、及びグループチャットが可能

(7) 現代アサン病院

延建坪が約8万5千坪あり，2,700余りの病床を有する韓国国内最大の病院で，1日平均の外来患者は，1万1千名を超えている。地下には，ショッピングモールもあり，買い物や食事ができる。

韓国情報化社会視察ツアー

2023年6月28日～6月30日

情報セキュリティ大学院大学 名誉教授
元横浜市情報統括補佐官

内田 勝也

(8) 清溪川 (チョンゲチョン)

ソウル中心部を流れる小さな川で、生活排水が流入する下水道代わりの川であったが、ソウル市は暗渠化し住民を強制移住させ、暗渠の上を通る清溪高架道路を1971年に完成させた。その後、2000年代に市民の署名などで清溪川復元の世論が高まり、清溪川の復元工事が行われ、水質浄化対策や親水施設の整備を行って市民の憩いの場になった



(9) 教育学術情報院 (韓国教育学術情報院: KERIS) 韓国における学術情報サービスの現況および韓国教育学術情報院 (KERIS) の将来計画

<https://www.nii.ac.jp/publications/kaken/HTML1999/99Park-J.html>

1999年4月22日の韓国教育学術情報院法(法令第5685号)によって設立され、全国規模で教育・研究情報の開発、管理、提供を行う。KERISは、小学校教育から大学教育、学術研究に至る、さまざまな情報が幅広く提供されるほか、教育および情報管理についての国家計画も策定される。このうち学術情報サービスでは、大学図書館と関わっていくつかの事業が行われている。150館の大学図書館を網羅する全国総合目録がKERISで作成されており、この目録を利用して全国規模の図書館間相互貸借(ILL)システムが運営されている。また、韓国学術情報全文データベースの開発もKERISで進められている。

(10) 松島スマートシティ

仁川経済自由区域の1つとして整備され、干潟の埋立で造成された土地に開発された区域。**先端知識サービス産業のグローバル拠点を目指し**、バイオ産業、教育・研究(世界一流の教育機関及び研究所などの集積)、文化・観光、MICE産業(松島コンベンシア等)を備える国際都市を目指すとともにスマートシティ施策も実行

先端知識サービス産業のグローバル拠点を目指し、バイオ産業、教育・研究(世界一流の教育機関及び研究所などの集積)、文化・観光、MICE産業(松島コンベンシア等)を備える国際都市を目指すとともにスマートシティ施策も推進している

スマートシティは、どこでも自由にネットワークに接続できる環境の構築を目指した。

道路、上水道、学校、病院、住居等に設置されたセンサーと有線/無線通信網から情報収集を行い活用することで、効率的な都市管理、交通、教育、医療、防犯、防災等のサービスをいつでもどこでも提供できる

(11) 仁川国際空港 (Incheon International Airport)

仁川広域市にある国際空港で、韓国最大で、2001年3月に開港。

航空業界評価会社スカイトラックスの世界TOP100国際空港で常に最上位圏(1-3位)を占め、国際空港評議会(ACI)主管の世界空港サービス評価で、12年連続世界最高のサービス品質を提供する空港に選定された

システム化が進んでおり、最初は若干戸惑うこともあるが、慣れると処理が迅速にでき、その便利さが分かる。

韓国情報化社会視察ツアー

2023年6月28日～6月30日

情報セキュリティ大学院大学 名誉教授
元横浜市情報統括補佐官

内田 勝也



注) おおよその目安. なお, スカイライナー及び羽田-東京間の鉄道は乗り換え1回あり

仁川国際空港-ソウル駅 約60Km【車 90分, 鉄道 43分】

成田国際空港-東京: 約67Km【車 52分, 鉄道 47/50分 (スカイライナー/エクスプレス)】

羽田国際空港-東京: 約19Km【車 21分, 鉄道 22分】

番外： 食事 (参鶏湯, 宮廷料理)

この視察ツアーの楽しみの1つに, 参鶏湯の昼食と宮廷料理の夕食があります



土俗村 参鶏湯



韓国情報化社会視察ツアー

2023年6月28日～6月30日

情報セキュリティ大学院大学 名誉教授
元横浜市情報統括補佐官

内田 勝也

あとがき

最初にこのツアーに参加したのは、10年前でした、また、2回目は5年前になります。初回参加では、システム化の考えがかなり国内の政府・自治体システムと異なるアプローチをしていると感じました。

今回は、3回目になり、韓国でのシステム化の考えも話を聞きながら、納得することが多く感じましたが、想定外のものだけでなく、根本的な思想は想像できるものでしたが、国内ではそれさえもできていない点が多々感じました。

また、初回から考えると10年経過しており、特に今回は左肩の腱の損傷修復直後（一週間後）でもあり、体力・気力の衰えを感じ、個人的には、3日間の視察ツアーはきつuitと感じましたが、また機会があれば参加させて頂きたいと思っています。

視察ツアーを主催して頂いた 廉 宗淳氏を始め、参加された皆様にお礼申し上げます。また、次回も一緒に参加したいですね。

注

本資料はイーコーポレーションジェーピー（株）主催の『韓国情報化社会視察ツアー』に個人として参加して得たもの及び関連事項の調査を基に記述しました。このため、本資料の内容に誤り、誤解等がある可能性があります。

また、本資料は原則として、参加者限り（含 組織内配布）と考えていますので、外部公開等をご遠慮下さい。

以上

2023年8月吉日
内田 勝也
uchidak@gol.com